

## 第 127 回触媒討論会特別シンポジウム

触媒学会では、第 115 回触媒討論会より毎年継続して参りました特別シンポジウムを、第 127 回触媒討論会にて開催します。注目度の高いテーマや他分野との境界領域のテーマを選定し、この分野でご活躍されている産学官の第一人者の方々にご講演をお願いしています。今回は「機能性材料開発を支える触媒技術」および「光・電気・電場などが係わる革新的反応」の二つのテーマについて特別シンポジウムを開催します。

本企画が、各界の研究者の交流を一層促進し革新的な成果を生み出す"触媒"となるよう、積極的なご参加をお願いします。

主催：触媒学会

日時：2021 年 3 月 17 日（水）14:30-17:30

発表形式：現地開催（千葉大学西千葉キャンパス 触媒討論会会場）とオンライン開催を併用します。講演者は、現地発表とオンライン発表を選ぶことができます。参加者は現地とオンラインのどちらでも特別シンポジウムに参加することができます。

### テーマ 1（A 会場）：「機能性材料開発を支える触媒技術」 14:30-17:30

日本製の「機能性材料」は、スマートフォンや自動車等の産業で、世界で大きな存在感を持っています。しかしながら、日本が今後ともこの分野で優位性を保つためには、「何を作るか (What to Make)」と同様に、「いかに作るか (How to Make)」が重要になります。本テーマでは、この分野におけるパイオニアの先生方をお招きし、画期的な触媒技術をご紹介します。

オーガナイザー：真島 和志（大阪大）

14:30-15:05	精密な反応機構解析に基づく新規錯体触媒反応の開拓	真島 和志（大阪大）
15:05-15:40	可視光レドックス触媒作用が拓くラジカル分子変換法	小池 隆司（東京工業大）
15:40-16:15	クロスカップリング反応のフロンティアを切り拓く	三浦 雅博（大阪大）
16:15-16:20	休憩	
16:20-16:55	Gd 触媒で創る革新素材「SUSYM™（サシム）」	会田 昭二郎（ブリヂストン）
16:55-17:30	金属錯体によるカルボン酸の水素化	斎藤 進（名古屋大）

### テーマ 2（B 会場）：「光・電気・電場などが係わる革新的反応」 14:30-17:30

再生可能エネルギーとしての光や電気のエネルギーを用いることで、CO<sub>2</sub> 排出量を削減すると共に、これまでにないマイルドな条件下で有用な物質に変換する革新的な研究が近年行われている。さらに、従来にはない特殊な反応場の形成やプロセスの開発により、省エネに貢献した研究も盛んに行われている。本テーマでは、光・電気・電場・マイクロ波をキーワードとした分野において、第一線で活躍されている方々に、最新の研究を紹介していただく。

オーガナイザー：関根 泰（早稲田大）

14:30-15:05	開会の挨拶と趣旨説明（電場反応に関する講演を含む）	関根 泰（早稲田大）
15:05-15:30	分子触媒と半導体を組合せた CO <sub>2</sub> 還元反応系の研究開発	森川 健志（豊田中研）

- 15:30-15:35 休憩
- 15:35-16:00 太陽光水素製造の実現に向けた可視光駆動型光触媒システムの開発 阿部 竜 (京都大)
- 16:00-16:25 水と電気を用いた化学品合成 山中 一郎 (東京工業大)
- 16:25-16:30 休憩
- 16:30-16:55 固体酸化物セルを用いる CO<sub>2</sub> の中温電気分解 石原 達己 (九州大)
- 16:55-17:20 マイクロ波特殊効果による固体触媒反応促進-ナノ反応場の局所選択加熱現象  
和田 雄二 (東京工業大・マイクロ波化学)
- 17:20-17:30 全体討議および閉会の挨拶 関根 泰 (早稲田大)

**参加費**：第 127 回触媒討論会参加登録費に含まれます。未登録の方は、第 127 回触媒討論会に参加登録をしてください。 <https://catsj.jp/news/8279>

**一般参加登録**：2020 年 12 月 22 日～2021 年 2 月 9 日，**支払締切日**：2021 年 2 月 9 日

**団体割引参加登録**：2020 年 12 月 22 日～2021 年 2 月 28 日，**支払締切日**：2021 年 2 月 28 日

**問合先**：触媒学会 事務局

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 3 階

電話：03-3291-8224, E-Mail：catsj (@) pb3.so-net.ne.jp (カッコを外してください)